

保健体育科 2年

保健分野 〈生活習慣病とその予防について〉



担当 木梨 祐司

【活動の目標】

生活習慣病について知り、引き起こす様々な病気を予防するための生活を考えることができる。

【 問 い 】

- ・自分の生活を振り返って、健康に良くないと思う生活習慣を考えてみよう。
- ・中学生の自分は生活習慣を「どうすれば」いいのか、なぜ「そうしなければ」ならないのかまとめよう。

今回 ICT を活用した場面	従来の活動
<p>A1 教員による教材の提示</p> <p>授業で扱う範囲を PowerPoint のスライドで拡大提示。さらに、CB のスライドへと変換をして、授業資料として各自に配布(課題として割り当て)した。</p> <p>〈PowerPoint〉 〈CB のスライド〉</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>【ICT 機器を活用する良さ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○内容の重点を押さえて共有できる。(生徒の立場) ○スライドとして配布することで、学習した内容のまとめを振り返りやすくなる。(生徒の立場) <p>【改善すべき点と原因または改善の見通し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○PowerPoint をスライドに変換すると若干のズレが生じる。⇒振り返りには支障のない程度。スライドを全員が CB で開きながら授業を進めるという方法は取らない。 	<p>授業で扱う範囲を PowerPoint のスライドで拡大提示。生徒は必要な内容をノートに記録する。</p>
<p>B4 表現・制作</p> <p>学習した内容を振り返りの学習としてドキュメントでレポートを作成。主に学習ノートから抜粋して様式を作成。</p> <p>【ICT 機器を活用する良さ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文章が素早く仕上がる。また、修正も手早く進めることが出来る。(生徒の立場) ○学習ノートを授業の度に回収しなくても、レポートを通してチェックができる。(教師の立場) 	<p>学習ノートで授業の要点をまとめ、自分の考えを深める問いに挑戦する。</p>

<p>【改善すべき点と原因または改善の見通し】</p> <p>○文字入力のスキル⇒生徒によって個人差が大きいが今後の活用で解消されると思われる。</p>	
<p>B2 調査活動</p> <p>生活習慣病を1つ選んで〈病名〉, 〈原因〉, 〈病気の進み方〉について調べてまとめる。上記の3つは必ず押さえた上で様式は問わずに取り組む。</p> <p>【ICT 機器を活用する良さ】</p> <p>○個人の CB で調べ学習を進められるため情報の収集が容易になる。(生徒の立場)</p> <p>○インターネットから図を用いるなど表現の方法を身につけることができる。(生徒の立場)</p> <p>【改善すべき点と原因または改善の見通し】</p> <p>○調べた内容を貼り付けるだけの活動にするだけになりやすい。⇒自分の考えや生活に照らし合わせて作成させる。</p> <p>○引用元の表示の指示が必要である。⇒ネットモラルの指導にも関わる。</p>	<p>各家庭で情報を調べてノートに記述する。または、PC室で情報を調べる。</p>

【資料】 生徒が作成したレポート



【ICT 活用のポイント】

これまでも授業の内容を PowerPoint でスライドを作成して表示していたが、個人に資料として配布することで授業の内容についての振り返りをしやすくなった。また、調べ学習が容易になったことで生徒の作業的な学習の時間の削減には効果があったと考えられる。しかし、レポートを作成するにあたって、一定の様式や基準を設定しなければ、調べた情報を貼り付けるだけになってしまう。自分の考えを含み、学習した内容を実生活において実践できるように構成しなければならない。

保健体育科においては、実技の時間が大半を占める。活用においては場面がかなり限定をされるが、今後は実技における活用事例を検討し、実践していきたい。